

## 意見提出フォーマット

意見提出元	株式会社南日本放送
-------	-----------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015 年ごろや 2020 年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	<p>770～806MHz において、放送番組中継用として 800MHz 帯映像 FPU と、特定ラジオマイク/デジタル特定ラジオマイクを運用している。同一周波数帯であるので、混信を未然に防止するため、関係機関と運用調整を図っており、周波数の有効利用を行っている。</p> <p>800MHz 帯映像 FPU は、マイクロ波帯の FPU に比較してその移動に適した伝搬特性を生かし、遮蔽物が多い場所でのニュース中継や駅伝、マラソンなどスポーツ中継等に使用している。充実した放送番組の制作に必要な不可欠な伝送手段であり、社会的な役割を果たしてきている。</p> <p>特定ラジオマイク/デジタル特定ラジオマイクは、放送事業者に限らず、イベント会場や公共の施設で広く使用されている。ホール・劇場など高品質なワイヤレスマイクとして文化的催し物での使用も多く、微弱な出力であるので、十分な保護が必要である。</p> <p>現有する 800MHz 帯映像 FPU は標準画質のデジタル方式であるが、低遅延高画質の HDTV 技術も開発されており、今後更なる有効利用が図られていくと考えている。</p>
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	